

伊川谷高で高校生のための文化講演会 哲学者の小川さん「枠組み超え考えて」

スライドで丸を映し出し、生徒に考えさせた小川仁志さん(右)＝神戸市西区伊川谷町長坂

作家や評論家らが自身の経験を語る「高校生のための文化講演会」が20日、神戸市西区の兵庫県立伊川谷高校であった。哲学者で山口大教授の小川仁志さん(53)が「哲学で人生をワクワクさせる方法」とのテーマで講師を務め、全校生徒約580人が聞き入った。

神戸新聞社と公益財団法人「一ツ橋文芸教育振興会」の主催。小川さんは商社マンや公務員など異色の経歴を持ち、ベストセラーとなった「7日間で突然頭がよくなる本」をはじめ、多くの著書を出

版してきた。

講演はスライドを見せ、「この丸に何かを付け加えてワクワクさせてください」という問いから始まった。生徒は丸の中に点を入れたり、見方を変えたりして、多様なワクワクを模索していた。

小川さんは「自分が高校生の頃は進学や就職など『人生の枠』にとらわれて生きていた」と振り返り、生徒には「枠組み(常識)を超えて考えてほしい」と何度も語りかけた。

2年の田中晴大さん(17)は「今



まで哲学に触れることがあまりなかったのも、物事の考え方や見方に大きな影響を受けるいい機会になった」と話した。小川さんの講演会は同日、県立播磨南高校(播磨町)でも開かれた。(大高 碧)